

簿記原理（簿記入門）テキスト

Ⅱ



学校法人田村学園

横浜経理専門学校

簿記原理（簿記入門）

Ⅱ

—目次—

Ⅲ. 簿記の基礎3

1. 財 務 諸 表 と 精 算 表 ①	-----	1 p
2. 決 算 整 理 ・ 修 正 と は	-----	6 p
3. 決 算 振 替 （ 帳 簿 決 算 ） と は	-----	8 p
4. 財 務 諸 表	-----	2 2 p
5. 精算表の作成（決算整理・修正がある場合）	-----	2 4 p

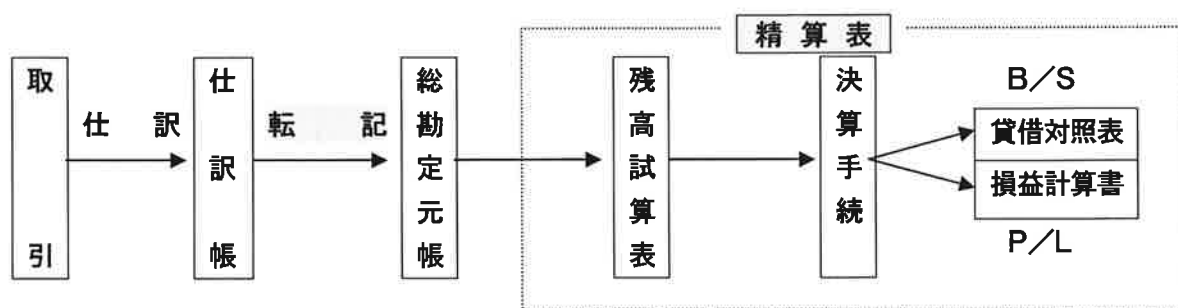
Ⅲ. 簿記の基礎3

1. 財務諸表と精算表①

(1) 決算とは（財務諸表作成までの流れ）

決算とは、元帳（総勘定元帳）の各勘定残高【残高試算表】に基づいて財務諸表（貸借対照表、損益計算書）を作成する作業である。（誘導法）

財務諸表を迅速かつ正確に、作成するために精算表（W a r k S h e e t）という作業表を作成する。



(2) 残高試算表の構造と財務諸表の構造

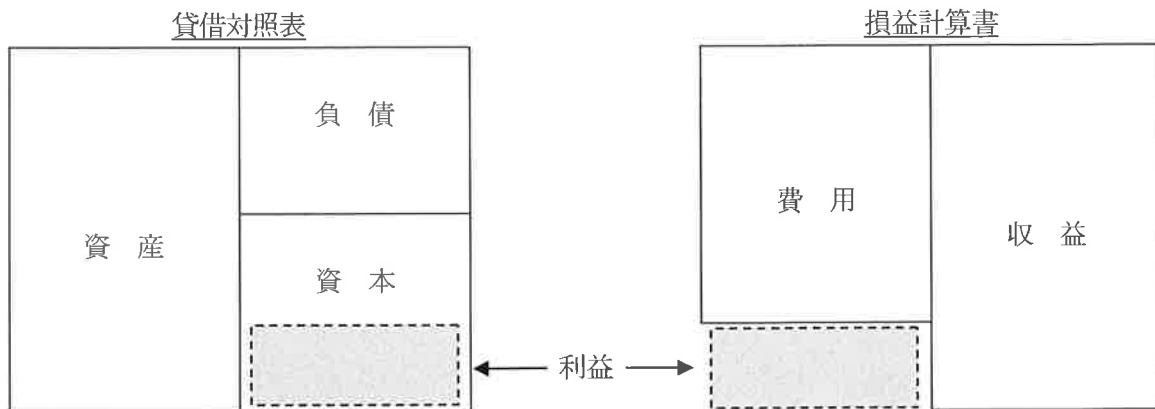
①残高試算表の構造

資産、費用の残高は借方に、負債・資本、収益の残高は貸方に生じるので残高試算表の構造は以下のようになる。

残高試算表	
資 産	負 債
	資 本
費 用	収 益

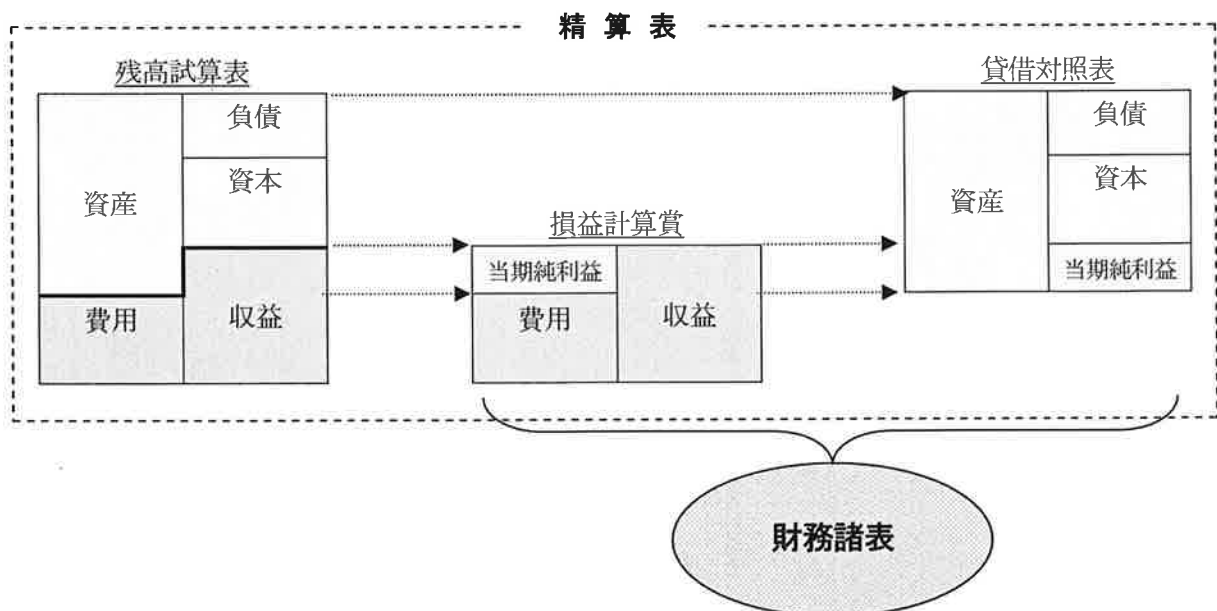
②財務諸表の構造

企業の財政状態を表す貸借対照表【資産・負債、資本】と、経営成績を表す損益計算書【費用・収益】の構造は以下のようになる。



(3) 残高試算表と財務諸表の関係 (誘導図)

残高試算表を基づいて、貸借対照表・損益計算書(財務諸表)が作成できることがわかる。
この作成過程を一つの作業表にしたものが、精算表(Wark Sheet)である。



(4) 精算表の作成

①精算表の形式（決算整理・修正がない場合）

精 算 表

摘 要	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
①資 産	□□□□□				□□□□□	
②負 債		△△△△				△△△△
③資 本		▲▲▲▲				▲▲▲▲
④収 益		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○		
⑤費 用	◇ ◇ ◇		◇ ◇ ◇			
⑥当期純利益			☆☆			☆☆
	× × × × ×	× × × × ×	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □

合計額は一致
合計額は一致
合計額は一致

⑥当期純利益（摘要欄）・損益計算書欄は、赤字で記入

②精算表作成の手順

前記形式の①～⑥について

- ①残高試算表借方金額 → 貸借対照表借方【資産】に移項
 - ②残高試算表貸方金額 → 貸借対照表貸方【負債】に移項
 - ③残高試算表貸方金額 → 貸借対照表貸方【資本】に移項
 - ④残高試算表貸方金額 → 損益計算書貸方【収益】に移項
 - ⑤残高試算表借方金額 → 損益計算書借方【費用】に移項
 - ⑥損益計算書の借方・貸方合計の差額を計算、貸借対照表も同様に差額を計算し差額金額が一致していることを確認して、借方・貸方合計金額の少ない方に記入
 - * 損益計算書 → 借方金が額少ない場合【利益】、貸方金額が少ない場合【損失】

次の残高試算表を基にして精算表及び財務諸表を作成しなさい。

借	方	殘	高	元丁	勘定科目	貸	方	殘	高
		2, 100, 000		1	現金				
		150, 000		2	売掛金				
		5, 000		3	事務用消耗品				
		200, 000		4	備品				
		800, 000		5	車両運搬具				
				6	買掛金			450, 000	
				7	借入金			500, 000	
				8	資本金			1, 800, 000	
				9	売上			1, 350, 000	
		600, 000		10	仕入				
		220, 000		11	給料				
		25, 000		12	支払利息				
		4, 100, 000						4, 100, 000	

[illegible]

平成〇年 12 月 31 日

(単位:円)

[illegible]

平成○年 1 月 1 日～平成○年 12 月 31 日

(単位:円)

[illegible]

解答 例題 1 2

精 算 表

摘 要	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	2,100,000				2,100,000	
売 掛 金	150,000				150,000	
消 耗 品	5,000				5,000	
備 品	200,000				200,000	
車両運搬具	800,000				800,000	
買 掛 金		450,000				450,000
借 入 金		500,000				500,000
資 本 金		1,800,000				1,800,000
売 上		1,350,000		1,350,000		
仕 入	600,000		600,000			
給 料	220,000		220,000			
支 払 利 息	25,000		25,000			
	4,100,000	4,100,000				
当期純利益			505,000			505,000
			1,350,000	1,350,000	3,255,000	3,255,000

貸借対照表

平成○年 12 月 31 日

(単位：円)

資	産	金	額	負 債 及 び 資 本	金	額
現	金		2,100,000	買 掛 金		450,000
売 掛	金		150,000	借 入 金		500,000
消 耗	品		5,000	資 本 金		1,800,000
備	品		200,000	当 期 純 利 益		505,000
車 両 運 搬 具			800,000			
			3,255,000			3,255,000

損益計算書

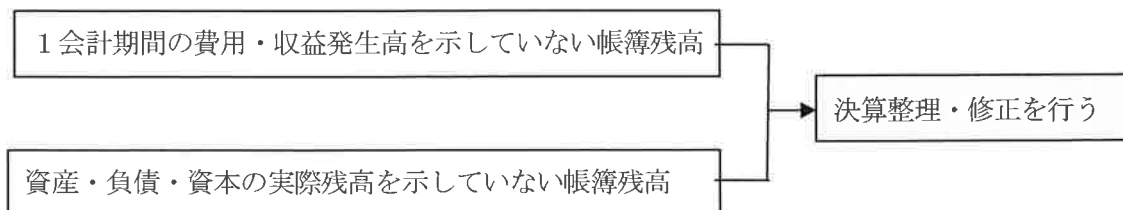
平成○年 1 月 1 日～平成○年 12 月 31 日

(単位：円)

費	用	金	額	収	益	金	額
仕	入		600,000	売	上		1,350,000
給	料		220,000				
支 払 利 息			25,000				
当 期 純 利 益			505,000				
			1,350,000				1,350,000

2. 決算整理・修正とは

・試算表が正確に作成（帳簿が正しく記入）されていても、その残高（帳簿残高）が、正しい残高（実際残高、1会計期間の費用・収益発生高）とは限らない。そこで、**实地棚卸（actual inventory）**や、収入と収益、支出と費用との期間的食違いの調整を行い、帳簿残高の修正をする。この手続を**決算整理・修正**といい、そのために必要な仕訳を**決算整理・修正仕訳**という。



（1）決算整理・修正事項

基本事項は以下の通りである。

①売上原価の算定(期末商品の把握)

- ②現金過不足の処理（金庫中の現金の把握）
- ③有価証券の評価（有価証券の期末時価の把握）
- ④貸倒引当金の設定（売上債権の期末評価）
- ⑤減価償却費の計上（有形固定資産の期末評価）
- ⑥引出金の整理（資本金の期末残高の把握）
- ⑦費用・収益の見越・繰延（1会計期間の費用・収益発生高の把握）

（2）上記（1）①売上原価の算定(期末商品の把握)

①商品売買取引の会計処理について以下の方法がある。

i 分記法

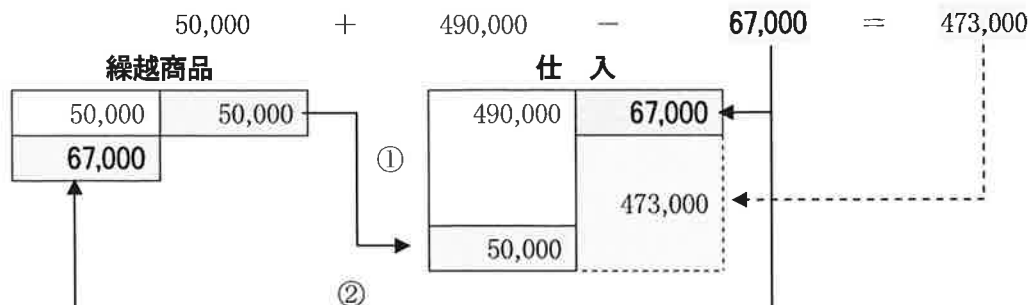
ii 総記法

iii 三分法（三分法）

仕 入…費用勘定・商品仕入時に使用
 売 上…収益勘定・商品売上時に使用
 繰越商品…資産勘定・期末売れ残り商品

②三分法による売上原価の算定(期末商品の把握)

i 計算式…期首商品棚卸高 + 当期商品仕入高 - 期末商品棚卸高 = 売上原価
 （期末商品の把握）



ii 上記①・②の決算整理仕訳

No.	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入	50,000	繰 越 商 品	50,000
②	繰 越 商 品	67,000	仕 入	67,000

例題 13

商品の決算整理・修正仕訳、転記をし、売上総利益（売上一売上原価）を計算しなさい。

期末商品棚卸高：¥550,000であった

繰越商品		売 上	
400,000			11,750,000
仕 入			
9,000,000			

決算整理・修正仕訳

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

売上総利益

売 上 高

売 上 原 価

売 上 総 利 益

	+	-	=
--	---	---	---

例題 1 3 解答

繰越商品		仕 入		売 上	
	400,000	仕 入	400,000		11,750,000
仕 入	550,000				
	仕 入				
	9,000,000	繰越商品	550,000		
繰越商品	400,000				

決算整理・修正仕訳

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
仕 入	400, 000	繰 越 商 品	400, 000
繰 越 商 品	550, 000	仕 入	550, 000

売上総利益

売 上 高 11, 750, 000

売 上 原 価 8, 850, 000

売 上 総 利 益 2, 900, 000

$$400, 000 + 9, 000, 000 - 550, 000 = 8, 850, 000$$

3. 決算振替(帳簿決算)とは

・本来の簿記上の取引ではないが、ある勘定残高を他の勘定へ移動させるときに行う仕訳を振替仕訳という。決算本手続（**英米式**）時に行う振替仕訳を決算振替仕訳という。

(1) 振替仕訳具体例：A 勘定の借方残高¥50, 000を、B 勘定へ移動する仕訳（振替仕訳）。

（*借方残高は、他の勘定の借方にしか転記〈移動〉できない。）

A		B	
50, 000	B 50, 000	A 50, 000	

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
A	50, 000	B	50, 000

・上記振替仕訳を転記した結果、A 勘定は、借方合計¥50, 000・貸方合計¥50, 000となり残高はゼロとなる。B 勘定は、借方合計¥50, 000・貸方合計¥0なので残高は、借方¥50, 000となる。これで、A 勘定の借方残高を B 勘定の借方へ移動したことになる。

(2) 決算振替仕訳（元帳の締切り）

上記（1）の振替仕訳を、決算時に応用して行う仕訳を、決算振替仕訳という。

期中のすべての「収益」（成果）と、収益を得るための経済価値の犠牲「費用」（努力）を、一つの勘定に集め（振替仕訳を利用）その貸借の差額を「当期純損益」として把握する。

「収益」と「費用」を集める勘定を「**損益勘定**」という。

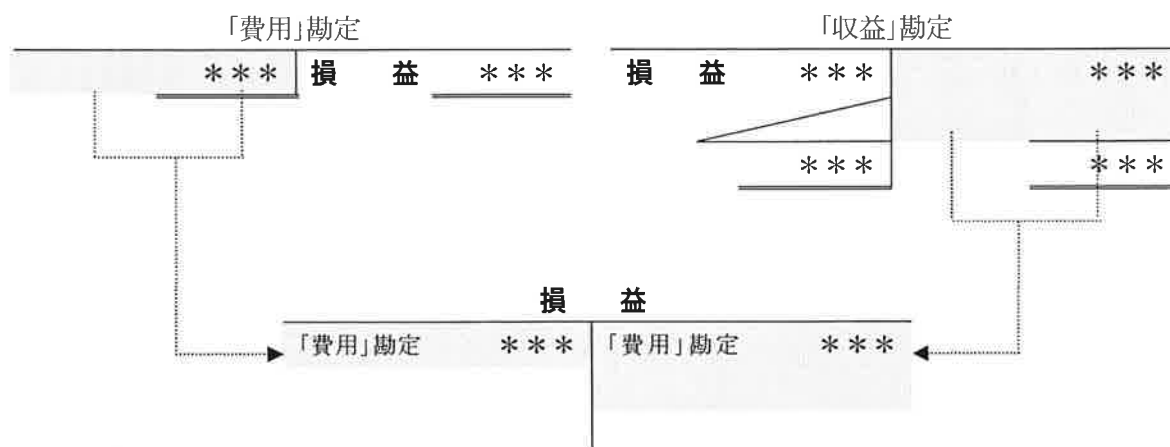
①費用勘定・収益勘定の損益振替仕訳（**損益勘定**の設定）

i 期中の全ての「収益」（成果）勘定の残高を、**損益勘定**の貸方へ**振替**える。当然元の「収益」（成果）勘定の残高は、ゼロとなる（全ての「収益」勘定の締切り）。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
収 益 勘 定	*****	損 益	*****

ii 同様に期中の全ての経済価値の犠牲「費用」（努力）を、**損益勘定**の借方へ**振替**える。当然元の「費用」（努力）勘定の残高は、ゼロとなる（全ての「費用」勘定の締切り）。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
損 益	*****	費 用 勘 定	*****



②損益勘定残高（当期純損益）の資本振替仕訳（**損益勘定**の締切り）

i 最後に、**損益勘定**の貸借差額（当期純損益）を、資本金勘定へ振替える。

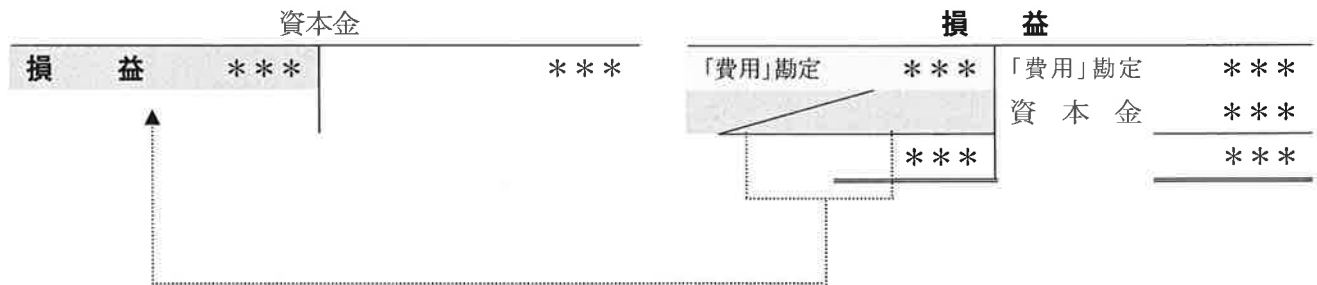
***当期純利益の場合**

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
損 益	*****	資 本 金	*****



***当期純損失の場合**

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
資 本 金	*****	損 益	*****



(3) 資産・負債及び資本に属する勘定の締切り（英米式）

①英米式では、資産・負債及び資本に属する勘定の決算振替仕訳を行わないため、各勘定残高を**次期繰越**と記入して、締切りを行う。

①決算振替仕訳は行わない

②**次期繰越と繰越金額は赤字記入（期末日付）**

③締切り後は、貸借反対に繰越額を前期繰越として黒字記入（期首日付）

現金（資産）		借入金（負債）	
5,000,000	550,000	500,000	1,500,000
400,000	15,000	250,000	300,000
100,000	次期繰越 4,940,000	次期繰越 1,050,000	
5,000		1,800,000	1,800,000
5,505,000	5,505,000		前期繰越 1,050,000
前期繰越 4,940,000			

資本金（資本）	
次期繰越 1,560,000	1,000,000
	損 益 560,000
1,560,000	1,560,000
	前期繰越 1,560,000

②資産・負債及び資本に属する各勘定の次期繰越高一覧表（繰越試算表）の作成

繰 越 試 算 表			
借	方	勘 定 科 目	貸
****		現 金	
****		売 掛 金	
		買 掛 金	****
		借 入 金	****
		資 本 金	****
****			****
必ず貸借合計一致			

例題 13-1

費用勘定・収益勘定の損益振替仕訳を転記して、費用・収益各諸勘定及び損益勘定を締切
なさい。

[illegible]

仕 入		売 上	
9,000,000	繰越商品 550,000		11,750,000
繰越商品 400,000			

給	料	受取利息
1,000,000		15,000

支払利息
5,000

損	益
資本金	10,000,000

例題 13 - 1 解答

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
損 益	9,855,000	仕 入	8,850,000
		給 料	1,000,000
		支 払 利 息	5,000
売 上	11,750,000	損 益	11,765,000
受 取 利 息	15,000		
損 益	2,260,000	資 本 金	2,260,000

仕 入			
	9,000,000	繰越商品	550,000
繰越商品	400,000	損 益	8,850,000
	<u>9,400,000</u>		<u>9,400,000</u>

売 上			
損 益	11,750,000		<u>11,750,000</u>

給 料			
	1,000,000	損 益	<u>1,000,000</u>

受取利息			
損 益	15,000		<u>15,000</u>

支払利息			
	5,000	損 益	<u>5,000</u>

損 益			
仕 入	8,850,000	売 上	11,750,000
給 料	1,000,000	受取利息	15,000
支払利息	5,000		
資 本 金	2,260,000		
	<u>11,765,000</u>		<u>11,765,000</u>

資本金			
			10,000,000
		損 益	2,260,000

例題 13-2

資産・負債及び資本に属する勘定を締切り、繰越試算表を作成しなさい。

現 金		買掛金	
10,000,000	550,000	250,000	750,000
500,000	300,000	300,000	350,000
300,000	460,000		
150,000			
100,000			

売掛金		借入金	
1,300,000	150,000	250,000	500,000
1,200,000	100,000	150,000	300,000
1,220,000			

資本金	
	10,000,000
損 益	2,260,000

繰 越 試 算 表			
借	方	勘 定 科 目	貸
		現 金	
		売 掛 金	
		買 掛 金	
		借 入 金	
		資 本 金	

例題 13-2 解答

現 金		買掛金	
10,000,000	550,000	250,000	750,000
500,000	300,000	300,000	350,000
300,000	460,000	次期繰越 550,000	
150,000	次期繰越 9,740,000	1,100,000	1,100,000
100,000			前期繰越 550,000
11,050,000	11,050,000		
前期繰越 9,740,000			

売掛金		借入金	
1,300,000	150,000	250,000	500,000
1,200,000	100,000	150,000	300,000
1,220,000	次期繰越 3,470,000	次期繰越 400,000	
3,720,000	3,720,000	800,000	800,000
前期繰越 3,470,000			前期繰越 400,000

資本金		損 益	
次期繰越 12,260,000	10,000,000		
		2,260,000	
12,260,000	12,260,000		
	前期繰越 12,260,000		

繰越試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
9,740,000	現 金	
3,470,000	売 掛 金	
	買 掛 金	550,000
	借 入 金	400,000
	資 本 金	12,260,000
13,210,000		13,210,000

例題 13-3

横浜商店の勘定口座に基づき、下記 (1) ~ (4) の設問に答えなさい。

ただし、会計期間は 1 年 (決算日 : 平成〇年 12 月 31 日) とする。

- (1) 決算整理仕訳、転記をしなさい。 : 期末商品棚卸高は 650,000 円である。
- (2) 決算振替仕訳、転記をしなさい。
- (3) 勘定を締切rinaさい。(英米式)
- (4) 繰越試算表を作成しなさい。

(1) 決算整理仕訳

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

(2) 決算振替仕訳

①収益勘定

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

②費用勘定

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

③資本金勘定振替

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

(3) 転記締切

現 金 1	
4,600,000	3,000,000

売 掛 金 2	
8,200,000	5,470,000

繰 越 商 品 3	
前期繰越 500,000	

備 品 4	
7, 000, 000	

車両運搬具 5	
1, 100, 000	

買 掛 金 6	
4, 000, 000	5, 900, 000

借 入 金 7	
200,000	1,000,000

資 本 金 8	
	1/1 前期繰越 8,100,000

売 上 9	
	11,750,000

受取手数料 10	
	390,000

仕 入 11	
9,000,000	

給 料 12	
950,000	

支 払 家 賃 13	
20,000	

通 信 費 14	
30,000	

支 払 利 息 15	
10,000	

損 益 16	

(4) 繰越試算表

繰越試算表

12月31日

借	方	勘定科目	貸	方
	1	現金		
	2	売掛金		
	3	繰越商品		
	4	備品		
	5	車両運搬具		
	6	買掛金		
	7	借入金		
	8	資本金		

例題 13-3 解答

(1) 決算整理仕訳

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
仕 入	500,000	繰 越 商 品	500,000
繰 越 商 品	650,000	仕 入	650,000

(2) 決算振替仕訳

①収益勘定

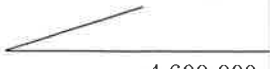
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
売 上	11,750,000	損 益	12,140,000
受 取 手 数 料	390,000		

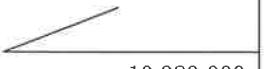
②費用勘定

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
損 益	9,860,000	仕 入	8,850,000
		給 料	950,000
		支 払 家 賃	20,000
		通 信 費	30,000
		支 払 利 息	10,000

③資本金勘定振替

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
損 益	2,280,000	資 本 金	2,280,000

現 金 1	
4,600,000	3,000,000
	12/31 次期繰越 1,600,000
4,600,000	4,600,000
1/1 前期繰越 1,600,000	

資 本 金 8	
12/31 次期繰越 10,380,000	1/1 前期繰越 8,100,000
	12/31 損 益 2,280,000
10,380,000	10,380,000
	1/1 前期繰越 10,380,000

売 掛 金 2	
8,200,000	5,470,000
	12/31 次期繰越 2,730,000
8,200,000	8,200,000
1/1 前期繰越 2,730,000	

売 上 9	
12/31 損益 11,750,000	11,750,000
受取手数料 10	
12/31 損益 390,000	390,000

繰 越 商 品 3	
前期繰越 500,000	12/31 仕入 500,000
12/31 仕入 650,000	12/31 次期繰越 650,000
1,150,000	1,150,000
1/1 前期繰越 650,000	

仕 入 11	
9,000,000	12/31 繰越商品 650,000
12/31 繰越商品 500,000	12/31 損益 8,850,000
9,500,000	9,500,000

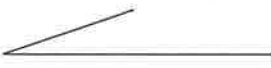
備 品 4	
7,000,000	12/31 次期繰越 7,000,000
1/1 前期繰越 7,000,000	

給 料 12	
950,000	12/31 損益 950,000

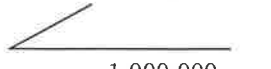
支 払 家 賃 13	
20,000	12/31 損益 20,000

車 両 運 搬 具 5	
1,100,000	12/31 次期繰越 1,100,000
1/1 前期繰越 1,100,000	

通 信 費 14	
30,000	12/31 損益 30,000

買 掛 金 6	
4,000,000	5,900,000
12/31 次期繰越 1,900,000	
5,900,000	5,900,000
	1/1 前期繰越 1,900,000

支 払 利 息 15	
10,000	12/31 損益 10,000

借 入 金 7	
200,000	1,000,000
12/31 次期繰越 800,000	
1,000,000	1,000,000
	1/1 前期繰越 800,000

損 益 16	
12/31 仕入 8,850,000	12/31 売上 11,750,000
31 給料 950,000	31 受取手数料 390,000
31 支払家賃 20,000	
31 通信費 30,000	
31 支払利息 10,000	
31 資本金 2,280,000	
12,140,000	12,140,000

(4) 繰越試算表

繰越試算表

12月31日

借	方	勘	定	科	目	貸	方
1,600,000	1	現			金		
2,730,000	2	売		掛	金		
650,000	3	繰	越	商	品		
7,000,000	4	備			品		
1,100,000	5	車	両	運	搬	具	
	6	買		掛	金	1,900,000	
	7	借		入	金	800,000	
	8	資		本	金	10,380,000	
13,080,000						13,080,000	

4. 財務諸表

例題 1 3 - 3 の結果に基づいた財務諸表（損益計算書及び貸借対照表）

（1）損益勘定を基（誘導法）に損益計算書を作成

		損	益	16
12/31 仕 入	8,850,000	12/31 売 上	11,750,000	
31 給 料	950,000	31 受取手数料	390,000	
31 支払家賃	20,000			
31 通 信 費	30,000			
31 支払利息	10,000			
31 資 本 金	2,280,000			
	12,140,000		12,140,000	

損益計算書				
横浜商店		平成○年 1 月 1 日から平成○年 1 2 月 3 1 日まで		
費	用 金	額	収 益	金 額
売 上 原 価		8,850,000	売 上 高	11,750,000
給 料		950,000	受 取 手 数 料	390,000
支 払 家 賃		20,000		
通 信 費		30,000		
支 払 利 息		10,000		
当 期 純 利 益		2,280,000		
		12,140,000		12,140,000

(2) 繰越試算表を基（誘導法）に貸借対照表を作成

繰越試算表

12月31日

借方	勘定科目	貸方
1,600,000	1 現金	
2,730,000	2 売掛金	
650,000	3 繰越商品	
7,000,000	4 備品	
1,100,000	5 車両運搬具	
	6 買掛金	1,900,000
	7 借入金	800,000
	8 資本金	10,380,000
13,080,000		13,080,000

貸借対照表

横浜商店

平成〇年12月31日

資	産	金	額	負債・純資産	金	額
現金	金	1,600,000		買掛金	1,900,000	
売掛	金	2,730,000		借入金	800,000	
商	品	650,000		資本金	8,100,000	
備	品	7,000,000		当期純利益	2,280,000	
車両運搬具		1,100,000				
		13,080,000				13,080,000

5. 精算表の作成(決算整理・修正がある場合)

精算表の形式(決算整理・修正がある場合)

摘 要	残高試算表		整理・修正		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
① 資 産	□□	→	⊕××	⊖××			□□	
② 負 債		△△→	⊖××	⊕××				△△
③ 資 本		▲▲→	⊖××	⊕××				▲▲
④ 収 益		○○→	⊖××	⊕××		○○		
⑤ 費 用	◇◇	→	⊕××	⊖××	◇◇			
⑥ 当期純利益					☆☆			☆☆
	×××	×××	□□□	□□□	○○○	○○○	△△△	△△△

(1) 例題13-3の結果に基づいた精算表

精 算 表

摘 要	残高試算表		整理・修正		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	1,600,000						1,600,000	
売 掛 金	2,730,000		⊕	⊖			2,730,000	
繰越商品	500,000	→	650,000	500,000			650,000	
備 品	7,000,000						7,000,000	
車両運搬具	1,100,000						1,100,000	
買 掛 金		1,900,000						1,900,000
借 入 金		800,000						800,000
資 本 金		8,100,000						8,100,000
売 上 高		11,750,000				11,750,000		
受取手数料		390,000	⊕	⊖		390,000		
仕 入	9,000,000	→	500,000	650,000	8,850,000			
給 料	950,000				950,000			
支払家賃	20,000				20,000			
通 信 費	30,000				30,000			
支払利息	10,000				10,000			
	22,940,000	22,940,000						
当期純利益					2,280,000			2,280,000
			1,150,000	1,150,000	12,140,000	12,140,000	13,080,000	13,080,000

例題 1 4

下記の精算表及び財務諸表を作成しなさい。

*** 期末商品棚卸高:550, 000円である。**

決算整理仕訳

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

精 算 表

摘 要	残高試算表		整理・修正		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	1,600,000							
当 座 預 金	1,100,000							
売 掛 金	2,730,000							
繰 越 商 品	400,000							
備 品	7,000,000							
買 掛 金		1,900,000						
借 入 金		800,000						
資 本 金		8,000,000						
売 上 高		11,750,000						
受取手数料		390,000						
仕 入	9,000,000							
給 料	950,000							
支 払 家 賃	20,000							
通 信 費	30,000							
支 払 利 息	10,000							
	22,840,000	22,840,000						
()								

解答

決算整理仕訳

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
仕 入	400, 000	繰 越 商 品	400, 000
繰 越 商 品	550, 000	仕 入	550, 000

精 算 表

摘 要	残高試算表		整理・修正		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	1,600,000						1,600,000	
当 座 預 金	1,100,000						1,100,000	
売 掛 金	2,730,000						2,730,000	
繰 越 商 品	400,000		550,000	400,000			550,000	
備 品	7,000,000						7,000,000	
買 掛 金		1,900,000						1,900,000
借 入 金		800,000						800,000
資 本 金		8,000,000						8,000,000
売 上 高		11,750,000				11,750,000		
受取手数料		390,000				390,000		
仕 入	9,000,000		400,000	550,000	8,850,000			
給 料	950,000				950,000			
支 払 家 賃	20,000				20,000			
通 信 費	30,000				30,000			
支 払 利 息	10,000				10,000			
	22,840,000	22,840,000						
当期純利益					2,280,000			2,280,000
			950,000	950,000	12,140,000	12,140,000	12,980,000	12,980,000



学校法人田村学園

横浜経理専門学校

事業開発部

著編：立木 克久

電話：045-453-5500

<http://www.tamura.ac.jp>